

# インドネシア船乗組員22人遭難碑建立趣意書

昨年9月7日上陸した台風18号は、想像を絶する凄まじい猛威を振るい各地に多大な被害の爪痕を残しました。

下松市においても各区域で被害が多発いたしました。特に光市の新日鐵住金ステンレスで、スチールパイプ5千トンを積んでインドネシアに向かう予定のインドネシア船籍貨物船トリ・アルディアント号(6,350トン)が強風を避けるため笠戸島東側に投錨しておりましたが、強風のため白浜の小島に流され座礁し、無残にも船体は引き裂かれ乗組員22名全員が尊い人命を奪い去られ、未だ3名の遺体の発見ができない悲惨な出来事がありました。

海中に沈んだ船体部分の解体回収作業も終了し、元の静かな海へと戻りましたが、小島に残る当時の悲惨な爪痕は、台風という自然現象の恐ろしさを目の当たりにして、遠い異国の地で不運にも命を落とされた乗組員の方々のご家族や親戚縁者などご遺族の方々の心情を察するとき無念遣るかたない思いになります。22名の乗組員の鎮魂とご遺族の遠い異国での悲しい出来事への思いを後世に語り継ぐべく、多くの皆様のご賛同を賜り慰霊碑を建立して、再びこのような惨事が起きることのないよう、美しい島であり続けるように祈念したいと思います。併せてこの出来事を契機としてインドネシア共和国と日本との友好が促進できることを願っております。

このたび、地元笠戸島自治会連合会、下松漁協、下松市観光協会、下松商工会議所等関係者で世話人会を開き、遭難碑建立実行委員会を設立していよいよ募金活動を開始する運びとなりました。

なお、建立予定は1周忌に当たる平成17年9月を予定し、現地の近くに建立したいと考えますが、建立するにあたり予定額を概ね100万円と定め、多くの方々のご賛同を得て実施したいと思います。

何卒、本趣意ご賢察の上、建立募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成17年2月

インドネシア船乗組員22人遭難碑建立実行委員会  
会長 弘中佑児

## 遭難碑建立募金申込書

金額	金	円
----	---	---

ご芳名.....

ご住所.....

TEL ( ) -

**領 収 書**

様

領収書(控)

様

金額	金	円
----	---	---

金	円
---	---

但し、インドネシア船乗組員遭難碑建立募金として平成17年 月 日上記正に領収いたしました。

インドネシア船遭難碑建立募金  
平成17年 月 日

下松市大字笠戸島14-1 国民宿舎大城内

インドネシア船遭難碑建立実行委員会  
会長 弘中佑児 印

(受領者) \_\_\_\_\_